

1学期折り返し

「光陰矢の如し！」とはよく言ったもので、新年度になってもう2ヶ月が過ぎました。入学式や体育大会等々の行事に追われて多忙な日々が続いており、この2ヶ月が、あっという間に過ぎたように感じます。明日から6月、1学期の折り返しです。6月には市中総体や定期テストが、7月には“長崎っ子の心を見つめる教育週間”等があり、まだまだ息をつく間がないほど忙しい日々が続きます。また、梅雨に入り、高温多湿のために体調を崩しやすくなる時期でもあります。ここを乗り切るために必要なのは、バランスのよい食事と十分な睡眠。よく食べて寝て、気力・体力を充実させて、1学期後半に臨んでほしいと思います。特に今月末(28日、29日)の期末テストに向けて



の準備には、相当の時間を要します。実質3か月分の授業内容をしっかり復習して、納得のいく結果が得られるよう頑張りたいと思います。と書いたところで、「そういえば、昔はよく“おさらい”という言葉を使っていたけど、今は死語になっているかな？」と思い、実習生に聞いてみたところ、「“振り返る”という意味ですか。でも、全く使いません。」との回答。それを聞いていた林田先生も「私達もほとんど使いません」とのコメント。ということで、この“おさらい”について解説します。

「おさらい」には、「学んだことを身に付けるため、繰り返しやってみること」という意味があります。「おさらい」は漢字で書くと「御浚」と書きますが、「浚う」という言葉には、川や池などの土砂を取り除くという意味があります。土砂を取り除けば、水の巡りが良くなります。この意味が転じて、「教えられたことを、できるようにする」「繰り返ししてすんなりできるようにする」という言葉になったとされています。

復習や家庭学習で大切なこと。それは、“頭の中を整理すること”だと思います。「授業中は分かったけど、家に帰ったら・・・」という人がたくさんいます。それはなぜか。簡単に言うと、“頭の中が整理できていない状態”だと思います。だからこそ、“おさらい”が必要なのです。頭の中が整理できると、情報をうまく引き出せるようになるのです。この“御浚”を意識して授業や家庭学習に臨むことが、成績向上につながります。期末テストまであと1ヶ月弱。時間はたっぷりあります。しっかり頑張って成果をあげて欲しいと思います。

もったいない！

先日、引き出しにあった時計が上品だったので、時計屋さんに持っていったところ、「これ、かなり古いですね。物は上等だけど・・・」と言いながら電池交換。でも、残念ながら動かない。「修理、利きますか」と尋ねたところ、「もう部品がありません。買ったほうが安いですよ。」との返事。物があふれる現代、「修理して使う」から「買い換えが当然」になってきています。このためか、「もったいない」「物を大切に使う」という考えが薄くなったような気がします。物にも寿命があります。だからこそ、大切に、丁寧に扱う必要がある！と思った次第です。